

2. 積極的なイベントやPRの展開、各種商品の販売推進、沿線地域との連携

◇ イベント、PRの展開

福助電車運行と関連イベントの実施



「福助電車の運行」と
「福助人形の展示」の

広報ポスター



福助電車運行記念
セレモニー



福助電車3両を運行



山口家住宅での福助人形展示

新世界 & 通天閣百周年記念イベントへの参画



堺市役所での
イベント



大小路筋を
パレード



記念列車の
運行

○ 沿線イベント等での電車グッズ販売ブース出展



堺区ふれあいまつり



駅サイティング



堺旧港観光市場



北花田阪急百貨店での阪堺フェア

3. 運賃割引施策の推進

ICカード利用のお客様に対し、次の運賃割引の実施を検討します。

- ・ 利用額割引や登録型割引
- ・ 南海バスとの乗り継ぎ割引
- ・ 短距離区間の運賃を割り引き

※利用額割引とは

一ヶ月間（1日～31日）のご利用の合算額に応じて割引を適用します。

※登録型割引とは

ご利用になる停留場を事前に登録いただき、その区間の一ヶ月の利用額に応じた割引を適用したり、上限額を設定します。



今後の取り組み事項 市民との協働

1. 市民団体との連携強化



阪堺線活性化フォーラム(伝統産業会館)



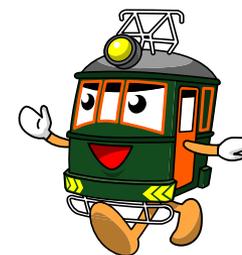
・「阪堺線活性化フォーラム」の開催歴

- 第1回 平成22年8月 沿線地域力を活かそう
- 第2回 平成22年12月 沿線地域力を活かそう
- 第3回 平成23年3月 沿線地域力を活かす“ご近所の底力”

～地域の明日をみんなで決めるには?～



美化活動への協力



今後の取り組み事項 保守経費のさらなる縮減

1. 軌道設備

○堺市内の併用区間における 保守の省力化

- ・バラス(砕石)道床
- ・PCマクラ木
- ・パンドロール(締結装置)

2. 信号設備



全方位閃光灯
LEDによる、電球交換周期の延長



平成24年度末までに、大道筋において改修が必要な区間(5,200単m)のうち、約90%(4,640単m)の改修を終える予定

目標と期間



(1) 収支均衡

- ・平成32年度に、軌道事業の収支均衡を目指す。
- ・軌道事業で利益を計上できた場合、運賃値下げやサービス向上に充当し、より一層の利用者増加を目指す。

(2) 健全な企業体質

- ・平成42年度までに借入金の返済並びに累損解消を目指す。

(3) 利用者数の増加

- ・堺市内における利用者数を、平成21年度と比較して、平成26年度には40～50%増しを目指す。

おわりに

公共交通事業は、非常に厳しい経営状況下におかれています。が、経営改善を進め、これからも利便性・サービスの向上にも力を注ぎ、市民をはじめ利用者から愛されるサービスの提供に尽力いたします。

